

麗和 サッカークラブニュース

VOL.13

平成17年12月8日発行 発行人 麗和サッカークラブ会長 星野隆之



「初蹴新年会」 1月8日(日)開催



師走の声を聞き、何かとあわただしいこの頃ですが、皆様にはお変わりありませんか。

ここ数年、日本のサッカー界は大きな変化をしています。サッカーを取り巻く商売が成り立つ世の中になり、夜間照明の下で夜遅くまでボールを蹴り、迎えに来る親を待つ子や、遅い電車で帰る子の姿が珍しくなくなりました。そんなサッカーブームに流されることなく、着実に日本のサッカーが発展するように、それぞれの立場から支えていくことも麗和クラブの役割かなと思うこの頃です。

さて、堅い話はこれくらいにして、恒例の「初蹴り新年会」を下記のように開催します。この会報が届く頃には、国内で世界クラブ選手権の最中でしょう。その勢いを駆って、麗和クラブ選手権とでも行きましょう。

日頃、運動する機会のない方は、年末年始を「コタツミカン」や酒浸りではなく、「初蹴り」のフラインプレーを夢に描いて、ちょっと走ってみてはいかがでしょうか。もちろん、走った後の新年会では大いに盛り上がりましょう。

1. 日 時 平成18年1月8日(日)
12:00 集合
12:30 ~ 14:00 現役vsFCれいわ・若手OB OB紅白戦
14:00 ~ 16:00 新年会
2. 会 場 グラウンド
懇親会 麗和会館 1階食堂
3. 雨 天 時 「現役vsFCれいわ」の試合後直ちに「新年会」
試合の実施は当日の天候で判断します。
すぐ、「新年会」を実施する場合があります。
4. 会 費 無料(OB会から支出します)
5. 連 絡 先 持田正義(16) 宗久信男(29) 岡部正樹(42) 各副会長



現役情報

予選リーグ

新人大会南部地区

- 浦和高校 1 - 0 川口高校(11月23日浦和高校)
浦和高校 4 - 0 岩槻商業高校(11月26日浦和西高)
浦和高校 1 - 1 岩槻高校(11月27日浦和高校)

浦 和

藤	12 / 17大宮東12:00		
上尾 橘			
市立川口	12 / 23伊奈学園12:00		
秀明栄光			
武 南			

決勝トーナメント 23日に

- 勝った場合
準決勝: 12 / 24大宮南10:00
負けた場合
5位決: 12 / 24大宮南12:00

24日に

- 勝った場合
決 勝: 12 / 26伊奈学園10:00
24日に負けた場合
7位決: 12 / 26伊奈学園12:00

市高が独占、浦高無念！



今回からカップを用意しましたが、人数に勝る市高がふたつのカップを独占しました。強さの秘密は人数にあり。集え丈夫！

第5回浦和4校サッカー部OB交流会

5回目の今年は浦高で、10月23日に行われた。天候不順が続き危ぶまれたが、秋晴れの日となった。未だに秋晴れがほとんど無い今年にとって、この日は誠にラッキーであったと言えよう。最初3校で出発した会も浦和南も参加し、一回りの年を迎えて、完全に定着した感がある。それは、参加者が年々増えており、自分の参加する試合が用意されているということであろう。いつものように市立が最も多い参加人数、南高は58歳が一番上という事情があり、西高は相変わらず孤高を保ち、そして本校は今年30数名を数えることが出来た。今年から楽しんでもらいたいという方針により、60歳以上には、浦和一女のサッカー同好会との試合を用意した。そのためか、浦高の60歳以上は、軽く11人を超えた。男心というものは、いくつになっても変わらないもので、高校時代共学であったか否かは問題にならないということがよくわかった。女子サッカーの普及も兼ね本会の活性化にもつながるため、これから毎年参加してもらえると、日頃動けない40代、50代のOBの人たちの楽しみになると思われる。ちなみに60歳以上は女子に1対2で敗れた。優勝は、A、Bともに市立浦和高校だった。

試合後、麗和会館で懇親会があり、年代が確かめられた瞬間に言葉遣いが変わるといふ日本の言語習慣の典型があちこちに見られた。一年に一度とはいえ、他の生活に紛れるため交流戦はあつという間にやってくるという心理状態になると、交流も本物になるだろう。



「参加者一覧年功不順」

堀口英雄(中48) 戸処光一(12) 山崎幸雄(高13)
鶴岡明(高15) 篠崎一男(高9) 星野隆之(高14)
諸田純一(高19) 近藤正広(高19) 宮内成郎(高23) 関根弘之(高23)
千谷順一郎(高23) 宗久信男(高29) 松村道彦(高27) 平井環(高24)
渡部宗一(高46) 藤井勝治(高16) 長島猛人(高21) 荻野清明(高33)
中禮宏(高42) 柴崎康之(高27) 鈴木和彦(高27) 小林利成(高31)
岡田比斗志(高31) 饗庭和彦(高31) 持田健生(高30) 持田正義(高16)
中原賢二(高13) 安佐信吾(高16) 塩野潔(高16) 伊藤庸夫(高12)
菊池紀夫(高11) 柴田宗宏(高17)



その他名簿にサインしなかった人がいるようでした。また、越智光男氏はサッカー部OBではなかったが様々に賛助していただき、OB戦には参加していただいている。気が付いたことは、女子とサッカーをするときに眼が生き生きするというの他に60歳は「爺さん」ではないということである。身体的な衰えも、考え方も、言語習慣も、多少のこぼこではあるが、それぞれに平均寿命が延びていると思われる。

長島猛人記